

## 第6章

---

# 自分の英語は相手に伝わってる？ 相手に直接確認して会話を続ける方法

---

あなたは、外国人と話しています。最初の挨拶のところは問題なく進められましたが、会話の途中で何かが違うと感じます。

さっきまで満面の笑顔だった相手は、目がなんだかうつろです。笑顔もちょっと弱くなり、すこし緊張しているようです。

「あれ！私の言ってること伝わってるかな？わかってくれてるかな？」と不安に思い、あなたも緊張して言葉が出てきません。

会話の途中でスムーズに「私の英語分かっていますか？」と聞いていたら、この状況は回避できたはず！

もし相手の答えが「No（わかりません）」だったら、違う言葉で言い直したり、わかってくれるまで丁寧に話せばよかったです。

今まで「会話を救う英コミ」で学んできたことをしっかり練習すれば、相手があなたの言っていることを分からないということは少なくなるはずです。

でも万一、あなたの言ったことが伝わらなかった場合、どうすればいいのでしょうか？

相手に伝わってなくても大丈夫！

まず、言っておきたいことがあります。頑張ってるのに、相手があなたの英語をわからなかったとしても、がっかりしないでください。

ネイティブ同士でも、正しい言葉で言いたいことを伝えられなくてコミュニケーションが行き詰まってしまうことが意外と多いです。

僕でさえ、アメリカ人の友達に大事なことを伝えようとしても「Arthur, I have no idea what you're talking about. (アーサー、何言ってるかさっぱりわからないよ)」と言われることがあります。

でも、あなたが相手に伝わっているかどうか常に心配してしまうと、その気持ちが相手にも伝わり、さらに気まずくなるかもしれません。

ですから、伝わっていなかったことにごっかりしたり、伝わっているか不安に思ったりしないでください。日本語でもコミュニケーションをとる上で、「伝わらないこと」ってよくあることですよ？

大事なものは、伝わっているか確認すること、そして、伝えるように何度でも話すことです。

では、はじめましょう。

## 相手に伝わっているかどうかを確認する ネイティブが実際に使うコツ

---

もしかすると、あなたは相手に伝わらないことを言っているかもしれません。もしかすると、相手は何も言わずにわかっている振りをするかもしれません。

あなたの話が実際相手に伝わっているかどうかは、かなり分かりづらいです。

では相手が教えてくれなくても、伝わっているか確認するにはどうすればいいのでしょうか？

### ボディーランゲージを気にする

前にお伝えしたように、コミュニケーションは言葉が占める割合がたった7%です。残りの93%はボディーランゲージと声のトーンです。ということは、相手が直接言ってくれなくても、相手のボディーランゲージからあなたの言っていることが分かっているかどうかきっと判断できるはずですよ。

以下の4つのポイントは、

相手があなたの言ったことをわかっていない時のヒントです。

目線を合わせなくなったり  
目がうつろになっていたり  
体があなたから遠くなったり  
急にひきつったり

ではこんな時、どうすればいいのでしょうか？

## 相手が分かっているかどうかを確認する

---

相手に、とてもシンプルで簡単な質問をするだけで大丈夫です！

(音声) 6-1, 6-2

「Do you know what I mean?」  
私の言っている意味が分かりますか？

「Does that make sense?」  
私が言ったこと、伝わりましたか？

どちらでも自由に使えます。言いやすい方をぜひ使ってみてください。  
もしあなたの言ったことが伝わっていたのであれば、前の章で学んだように会話を続けます。

もし相手に伝わっていなかったとしたら・・・

## 言いたいことを明確にする

---

### 言いたいことを簡単な言葉で説明する

相手にちゃんと分かってもらうために、単語を焦って考えるのではなく、他の言い方をしてみることも大切です。第3章で学んだように、言いたいことを簡単な言葉で説明してみてください。

## 第6章

簡単な言葉で説明すれば、相手もわかってくれるはずです。まずは、短い文章で説明することから始めましょう。

A: ... What do you mean?  
(えっと・・・どういう意味?)

B: The paper. It has train lines. You know the way.  
(紙で、電車の路線が書いてあって、行き方がわかるやつ。)

A: Oh... the train map! (ああ!“train map”ね!)

### 言い換えてみる

他の言い方を知っていれば、それを言ってみます。  
その前に、「I mean... (つまり～)」と言います。

A: The coffee is drastic here!

B: What do you mean?  
(え?なんて?)

A: Oh, I mean the coffee's taste is good!  
(あ、つまりコーヒーが美味しいってこと!)

### 言い方を教えてほしいと相手に頼む

もし他の言い方が思いつかない場合、「言い方を教えてほしい」と相手に直接頼みます。第3のセクションで学んだように、言葉はイメージや感覚を伝えるものなので、辞書で調べたり日本語の英訳を頼むよりも、以下のように言い方を教えてほしいと頼むのがベストです。

(音声) 6-2, 6-3, 6-4

こんな時何て言うのですか？

例1：What do you say when ...？

例2：When ... what do you say？

例3：In this kind of situation, what do you say？

「...」のところは、第3章で学んだ「簡単に説明する方法」を使います。  
この言い方を使えば、辞書みたいな直訳ではなく、伝えたいイメージや感覚に1番ふさわしい言い方を相手から学べます。

例1の場合：

(音声) 6-5

A: What do you say when you feel happy and you want to try hard?  
なんか嬉しくて一生懸命頑張らなきゃって感じる時何て言う？

B: You say "I'll do my best!"  
"I'll do my best!"って言うね。

例2の場合：

(音声) 6-6

A: When you want to say something, but you can't think of the words, what do you say?  
なんか言いたいことがあるのだけど、その言葉が思い出せない時って何て言う？

B: You say "It's on the tip of my tongue"  
"It's on the tip of my tongue"って言うね。

これでもう、相手があなたの英語を理解していなくても、あなたはそれに気づいて確認しながら、問題なく会話を自然に続けることができます！

この章で学んだことを実践すれば、自分の英語が伝わっているかどうか、もう悩む必要はありません！

## 「会話を救う英コミ」を修了するまえに・・・

---

①このセクションのビデオレッスンを観てください。

②Speed Speakingレッスンを受けてください。

③練習ビデオを観てください。

6日間のレッスン、お疲れさまでした！！

「会話を救う英コミ」を通して、あなたはネイティブが実際に使っている、英語コミュニケーションのコツを学びました。実際に使って慣れるためにも、何回も練習してみてください。

明日は今までお届けしたコンテンツの「総集編」をお届けします！

Thank you for signing up for  
「会話を救う英コミ」！

I hope to talk to you soon!!

Arthur Zetes

